

『ローマの休日』の
モチーフになったといわれる
元英空軍大佐ピーター・タウンゼンド。

彼が出会ったのは、
スミテル少年だった。



長崎の郵便配達

The Postman from Nagasaki

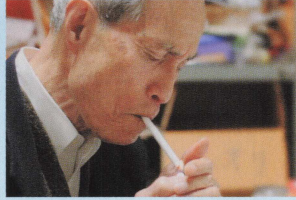
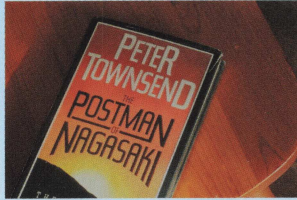
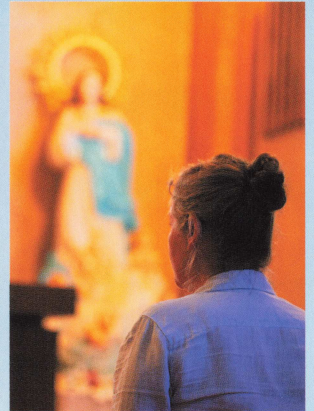
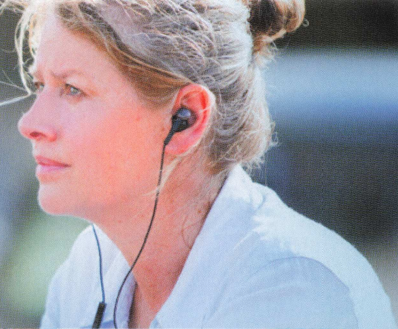
監督・撮影：川瀬美香 構成・編集：大重裕二 音楽：明星/Akeboshi
エグゼクティブ・プロデューサー：柄澤哲夫
プロデューサー：イザベル・タウンゼンド 高田明男 坂本光正 プロダクション・アシスタント：坂本肖美
企画制作：ART TRUE FILM 製作：長崎の郵便配達製作パートナーズ
出演：イザベル・タウンゼンド 谷口稜暉 ピーター・タウンゼンド

2021年/日本/日本語・英語・仏語/97分/4K/カラー/2.0ch/日本語字幕：小川政弘 フランス語翻訳：松本卓也
配給：ロングライド ©The Postman from Nagasaki Film Partners
longride.jp/nagasaki-postman

1冊の本からはじまった
父の記憶を辿る旅 ——
今、娘が受け取る
平和へのメッセージ。



父から娘へ、そしてあなたへ贈る
平和のメッセージ



『ローマの休日』のモチーフに
なったといわれるタウンゼンド大佐が
長崎の少年に出会い、生まれた物語

はじめは1冊の本だった。著者はピーター・タウンゼンド。戦時中、英空軍のパイロットとして英雄となり、退官後はイギリス王室に仕えた。エリザベス女王の妹であるマーガレット王女と恋に落ちて結婚を約束したが、周囲の猛反対で1955年に破局。この世紀の悲恋は世界中で話題となり、映画『ローマの休日』のモチーフになったともいわれる。

その後、世界を回り、ジャーナリストとなった彼が、日本の長崎で出会ったのが、谷口稜暉(スミテル)さんだった。16歳の夏、郵便配達途中に被爆し、背中に大やけどを負いながらも生還。生涯をかけて核廃絶を世界に訴え続けた谷口さんを、タウンゼンド氏は取材し、1984年にノンフィクション小説『THE POSTMAN OF NAGASAKI』を出版する。

映画『長崎の郵便配達』は、タウンゼンド氏の娘であり、女優のイザベル・タウンゼンドさんが、父親の著書を頼りに長崎でその足跡をたどり、父と谷口さんの想いを紐解いていくドキュメンタリーだ。

父が綴った平和の大切さを伝える
ラブ・レターを今度は娘が
ポストマンとなって世界へ届ける

川瀬監督は、谷口さん自身からこの本の復刊にける熱意を聞き、さらに、父の意志を受け継ぎたいと願うイザベルさんと出会ったことで、映画の制作を決心した。2017年、谷口さんが突然帰らぬ人となり、プロジェクトは一時中断しかけたが、奇跡的にタウンゼンド氏の取材テープを発見。天からふたりに導かれるようにして歩みを進めていった。

2018年8月、長崎。イザベルさんは本をなぞり、時に父のボイスメモに耳を傾けながら、スミテル少年が毎日歩いた階段や神社、そして被爆した周辺などを訪ね歩く。また、長崎のお盆の伝統行事、精霊流しでは谷口さん家族と一緒に精霊舟を引いた。旅の終わりに彼女が見る景色とは――。

「核兵器」という言葉がリアルに響く今この時こそ、平和の願いを誰かに“配達”してほしい。父から娘へのメッセージは、今、あなたの元へと届きます。

監督・撮影：川瀬美香 構成・編集：大重裕二 音楽：明晃/Akeboshi
エグゼクティブ・プロデューサー：柄澤哲夫
プロデューサー：イザベル・タウンゼンド、高田明男、坂本光正 プロダクション・アシスタント：坂本尚美
企画制作：ART TRUE FILM 製作：長崎の郵便配達製作パートナーズ
出演：イザベル・タウンゼンド、谷口稜暉、ピーター・タウンゼンド

©The Postman from Nagasaki Film Partners longride.jp/nagasaki-postman



8.5 *fri*

ROADSHOW
ムビチケオンライン・ムビチケカード
6/3(金)発売予定 ¥1,300(税込)

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り/全席指定・入替制

シネスイッチ銀座

www.cineswitch.com 03-3561-0707